

平成30年度「先導的大学改革推進委託事業」

# 2021年度入学者選抜に向けた 各大学の検討状況に関する 調査研究

## 概要版(抄)

2019年3月

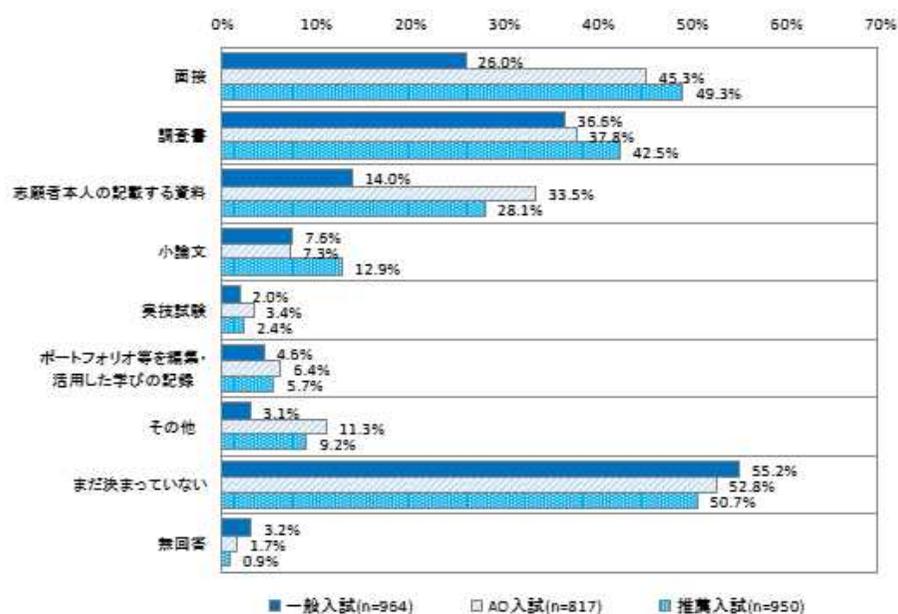
株式会社 リベルタス・コンサルティング

## 2-5-4 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法

### (1) 全体

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法についてみると、「まだ決まっていない」を除くと、「面接」(49.3%)と「調査書」(42.5%)は推薦入試の割合が高い。

図 2-90 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法  
(複数回答) (全体：入試区分別)

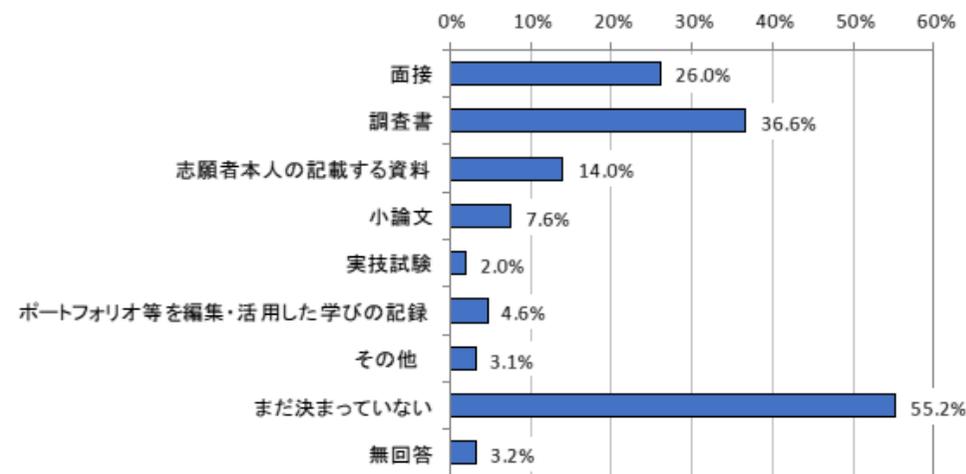


※AO入試、推薦入試がない大学は、それぞれAO入試、推薦入試の集計から除外。

### (2) 一般入試

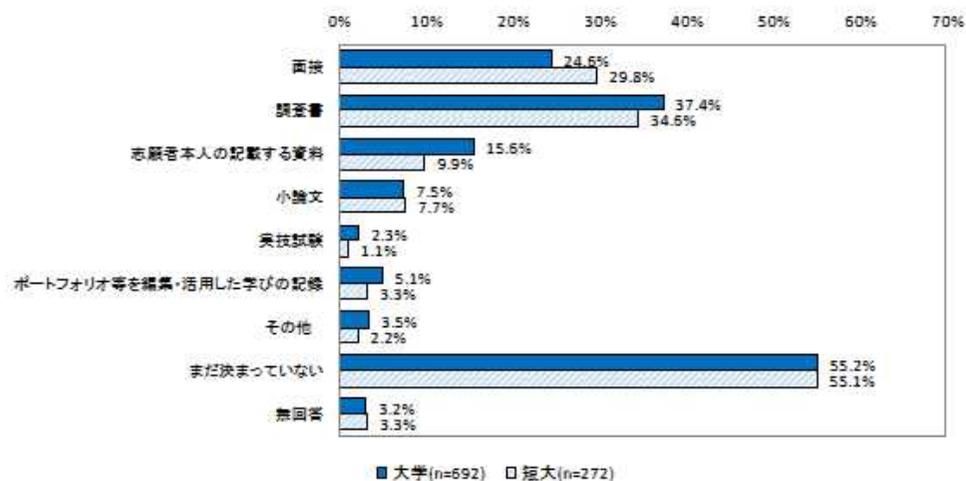
「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法について、一般入試についてみると、「まだ決まっていない」(55.2%)を除くと「調査書」(36.6%)、「面接」(26.0%)の順に割合が高い。

図 2-91 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法：一般入試  
(複数回答) (n=964)



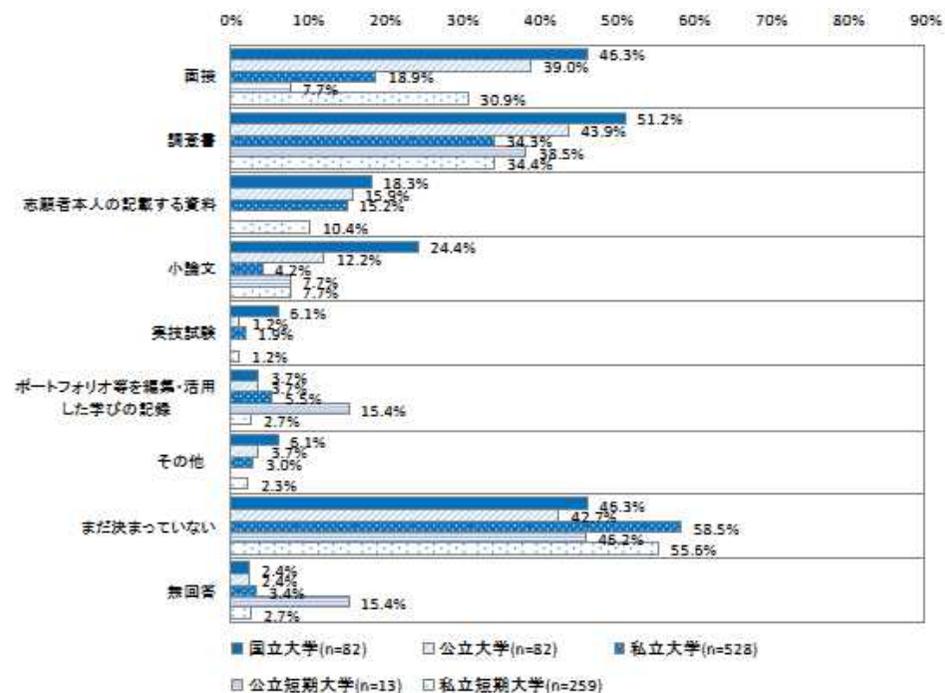
大学・短大別にみると、大学では短大に比べて「志願者本人の記載する資料」の割合が高い。

図 2-92 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法：一般入試  
(複数回答)(大学・短大別)



設置者別にみると、国立大学、公立大学は他と比べて「面接」「調査書」、国立大学は「小論文」の割合が高い。

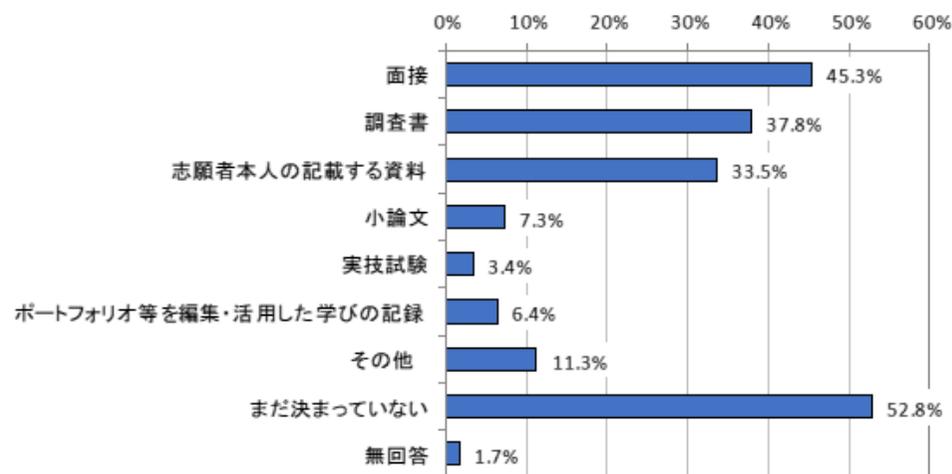
図 2-93 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法：一般入試  
(複数回答)(設置者別)



### (3)AO入試

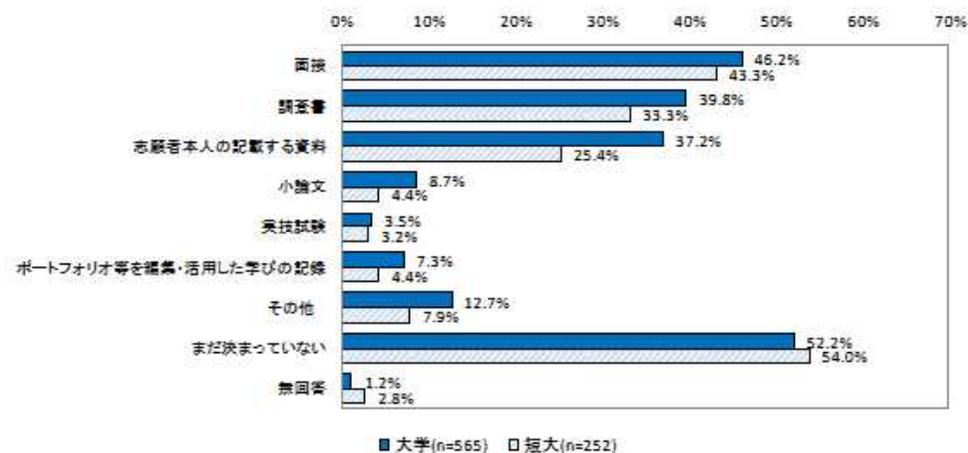
「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法について、AO入試についてみると、「まだ決まっていない」の52.8%を除くと、「面接」(45.3%)、調査書(37.8%)、「志願者本人の記載する資料」(33.5%)の順に割合が高くなっている。

図 2-94 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法：AO入試  
(複数回答) (n=817) (AO入試を行わない大学を除く)



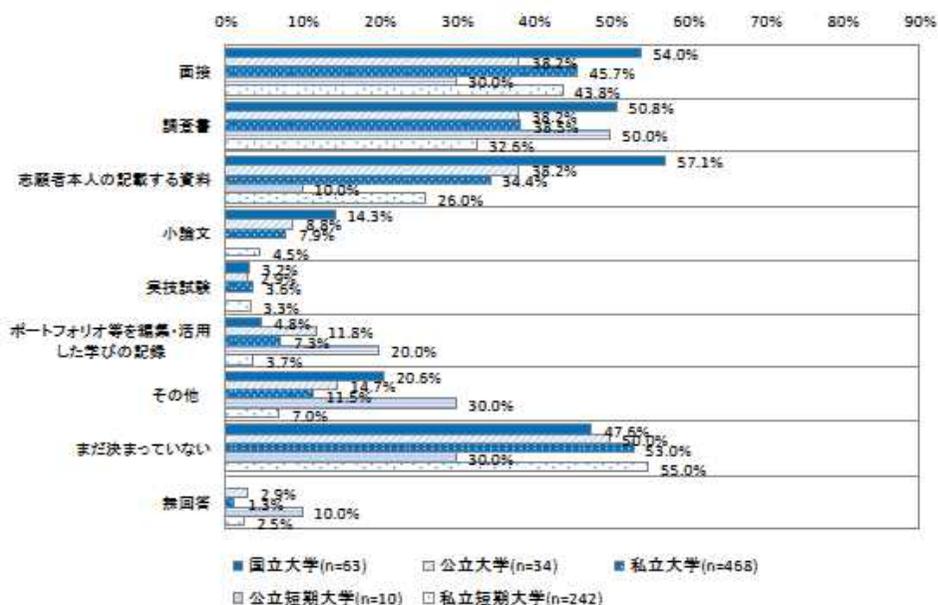
大学・短大別にみると、大学では短大に比べて「志願者本人の記載する資料」の割合がやや高い。

図 2-95 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法：AO入試  
(複数回答) (大学・短大別) (AO入試を行わない大学を除く)



設置者別にみると、国立大学は他と比べて「志願者本人の記載する資料」の割合が高い。

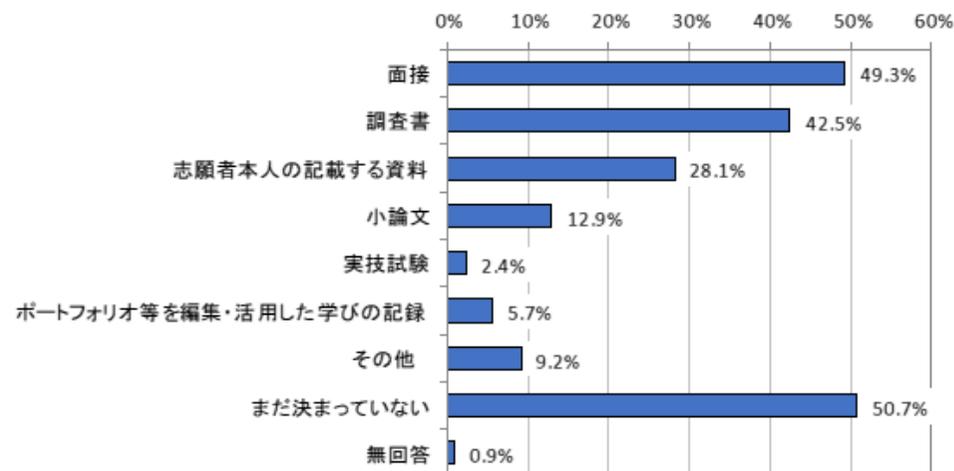
図 2-96 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法：AO 入試  
(複数回答) (設置者別) (AO 入試を行わない大学を除く)



#### (4) 推薦入試

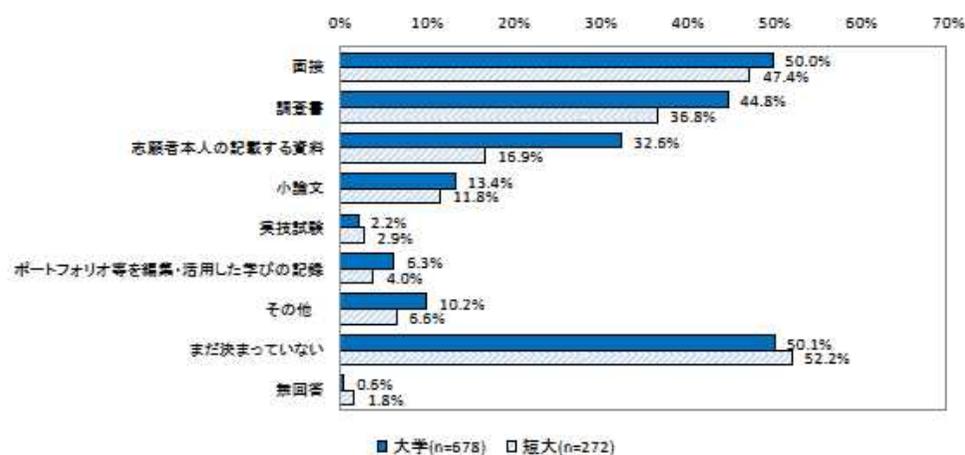
推薦入試についての「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法をみると、「まだ決まっていない」(50.7%)を除くと「面接」の割合が49.3%と最も高い。次いで、「調査書」の割合が42.5%となっている。

図 2-97 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法：推薦入試  
(複数回答) (n=950) (推薦入試を行わない大学を除く)



大学・短大別にみると、大学では短大に比べて「志願者本人の記載する資料」の割合が高い。

図 2-98 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法：推薦入試  
(複数回答)(大学・短大別)(推薦入試を行わない大学を除く)



設置者別にみると、国立大学は他と比べて「志願者本人の記載する資料」「小論文」の割合が高い。

図 2-99 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法：推薦入試  
(複数回答)(設置者別)(推薦入試を行わない大学を除く)

